

令和 5 年 9 月 25 日
北九州市産業経済局

報道機関各位

国交省「自動運転実証調査事業」に採択決定！

西鉄グループ、A-Drive(株)が中心となり、北九州空港～朽網駅間で

自動運転バスの実証実験を行います！

北九州市は、北九州自動運転推進ネットワークを設立し、自動運転の社会実装を目指すため、会員間の様々な活動を支援しています。

この度、ネットワーク会員のうち、西鉄グループや、A-Drive(株)(自動運転ワンストップサービス提供事業者)が中心となり、公共交通における運転士不足問題等を解決するために提案した「北九州空港～朽網駅間の自動運転実証実験」が、国交省の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金(自動運転実証調査事業)」に採択されました。

今回採択された事業内容は、国内有数のバス運行を手掛ける西鉄グループ等による一般道を使った自動運転レベル2(特定条件下での自動運転機能)での実証実験であり、将来の自動運転レベル4(特定条件下における完全自動運転)を目指した取り組みとなっております。(現在西鉄グループでは、福岡空港構内に限定した自動運転実証(レベル2)に取り組んでおり、一般道での実証は、令和2年以来(同じく北九州空港～朽網駅))

本年12月に実証実験を計画しており、今後、自動運転車両の準備等を進めて参ります。実施時期等が確定次第、改めて記者発表させていただきます。

【実験概要】

別紙のとおり

【問合せ先】

1 自動運転に係る市の取組みについて

産業経済局 次世代産業推進課

担当課長:森永 担当係長:安武

TEL:093-695-3035

2 実証実験に関すること

西日本鉄道(株) 広報・CS 推進部 広報課

担当:野口、中村

TEL:092-734-1383

自動運転バス「北九州空港～朽網駅」における実証運行〔概要〕



車両イメージ

【実証期間】 令和5年12月初旬～中旬(予定)

【車両】 路線バスタイプ 1台

【走行区間】 北九州空港～朽網駅 約10.5km

※西鉄グループは、令和2年に同じルートにて自動運転バス実証を行いました。今回はその結果も踏まえ、3Dマップ技術など新たなテクノロジーを導入し更なる知見蓄積を図るものです。

【自動運転レベル】 レベル2(運転士が常時運転席にて安全確認を行い、適宜介入操作)

【おもな関係者】 北九州市、西鉄グループ、A-Drive(株)、九州工業大学、いすゞ自動車(株)、(株)YE DIGITAL、(公財)北九州産業学術推進機構 他

【参考1】 運行ルート図



※ 詳細については改めてお知らせいたします。

【参考2】 北九州自動運転推進ネットワーク

- ・ 設立 令和3年6月
- ・ 目的 自動運転分野への新規企業等の参画を図り、研究機関と連携することで、新ビジネスの創出を図るとともに、自動運転の社会実装の実現を目的とする
- ・ 会員 産官学18機関
- ・ 主な活動内容 マッチングへの取組(産学・産産連携による技術開発・共同研究を仲介)、講演会、勉強会、先進地への視察、各種調査 等